

②環境を守るわたしたち 5月7日(木) 名前()

1 豊かな水資源をもつ京都市

○鴨川の写真から分かること

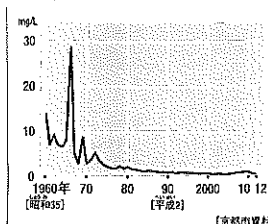
☆人々にとって()で、()にかかせない場。⇒()に

なっている

☆()や染色、清酒、とうふ、生めん、京菓子などの産業に水が必要

○鴨川における()の値の変化

川などの()の程度
を表す値のこと。
数値が大きいほど、
()。



グラフから読み取れること

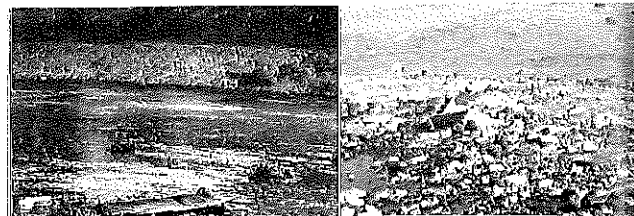
○学習問題

京都の人々は、鴨川をどのようにきれいにし、どのように守っているのでしょうか。

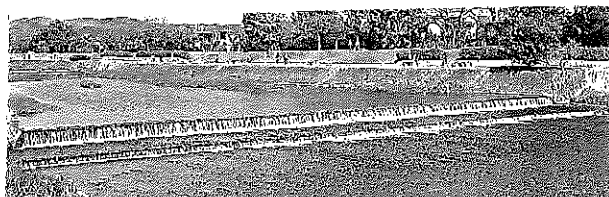
予想

2 美しさを取りもどすために

○昔の鴨川



○今の鴨川



○【 】

1950年代後半から約20年間、国内での生産や消費が大きくのび、国内の生活はほとんどん()になった。その一方で、()などの問題も起こった。

3 とりもどした環境を守るために

○市民の活動

鴨川を美しくする会の活動



⇒鴨川に()



子どもたちが鴨川について学習

⇒将来()を大切に

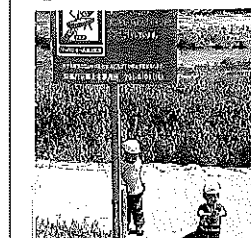


()活動

⇒()を大切にする

○京都府・京都市の取り組み

【 】 安心・安全で
かいてきに。



禁止じこう

()

()

()

【 】とは・・・

都道府県や市区町村が、国の法律とは別に
つくることができるきまりのこと。

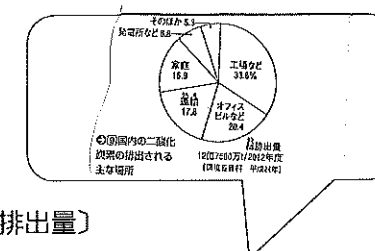
【新景観政策】→まちの()を守る

4 環境をもっとよくするために

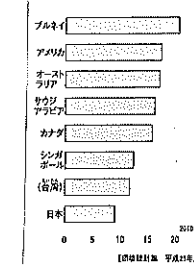
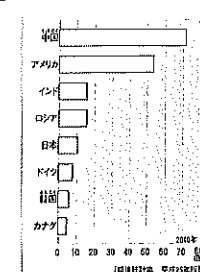
○海面が上がったツバル

⇒【 】が

えいきょう



〔国別の 排出量〕〔国別の 二酸化炭素排出量〕

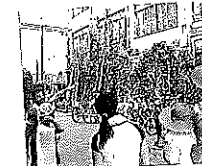
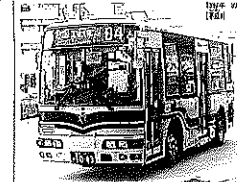


グラフから読み取れること

○京都市や市民の取り組み



()



()

〔 〕

地球温暖化によって、大気や海水温が少しずつ上がり、環境に大きなえいきょうがあるとされている。世界中の人々で協力して地球温暖化を防ぐために、まとめらえた文章。

③自然災害を防ぐ

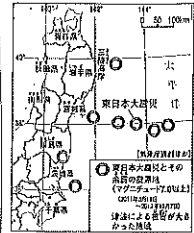
5月8日(金) 名前()

1 東日本大震災

○写真から分かること①



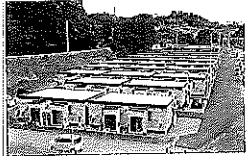
○写真から分かること②



○写真から分かること③



○資料から分かること④



○東日本大震災とは・・・

()年 ()月 ()日、
午後()時 ()分、
()沖をしんげんとする
()の大地震が発生した。



それにもなう()
によって、()地方
を中心として、東日本の
()沿岸が
大きなひがいを受けた。

○東日本大震災のひがい

- ・なくなった人・・・()人
- ・ゆくえ不明の人・・・()人
- ・けが人・・・()人
- ・家屋(全かい)・・・()戸
- ・家屋(半かい)・・・()戸

○学習問題

自然災害からわたしたちの生活を守るために、どんな取り組みがなされているのでしょうか。

2 さまざまな自然災害

○地震

- ()1995年1月
- ()2004年10月
- ()2008年6月
- ()2011年3月 など

○噴火

- ()1990年11月
- ()2000年3月
- ()2000年6月
- ()2011年1月
- ()2014年9月 など

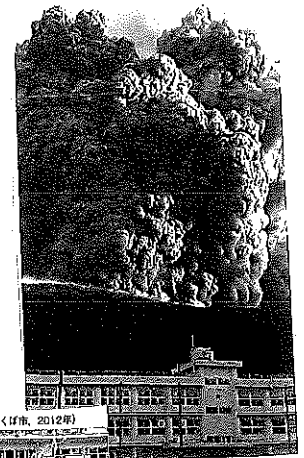
○台風・こう水

- ()2005年9月
- ()2006年6月
- ()2008年8月
- ()2011年9月
- ()2013年9月、10月
- ()2014年8月 など

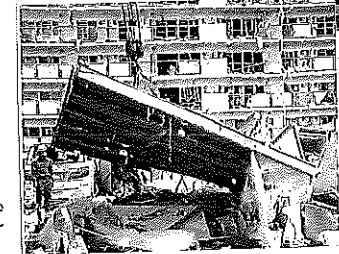
○大雪

- ()2005年12月～06年3月
- ()2010年12月～11年2月
- ()2011年12月～12年3月
- ()2013年1月～2月 など

○山火 (東京の三宅村, 2000年)



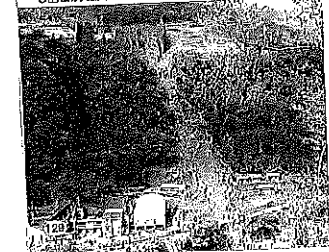
○台風 (新潟県つくし市, 2012年)



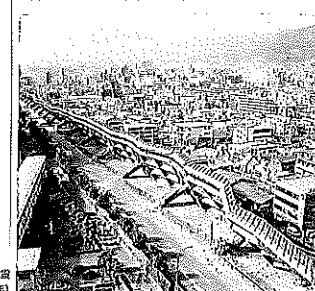
○台風 (新潟県つくし市, 2011年)



○土砂災害 (新潟県佐和田市, 2005年)



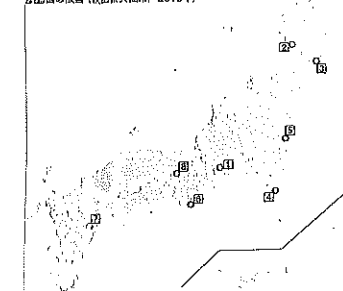
○台風 (新潟県つくし市, 2008年)



○大雪 (新潟県佐和田市, 1995年)



○大雪の被害 (新潟県佐和田市, 2013年)

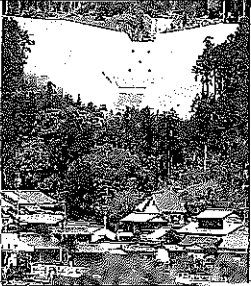


○土砂災害 (新潟県佐和田市, 2011年)

③自然災害を防ぐ 2 5月8日(金) 名前()

3 災害を防ぐために

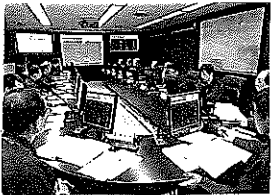
○自然災害から人々を守るための施設

		
三重県紀北町	埼玉県春日部市	埼玉県加須市
()防止のための設備	()を防ぐために水をためて排水する機能がある	()から生活を守るために必要な土砂などの資材を備蓄する など

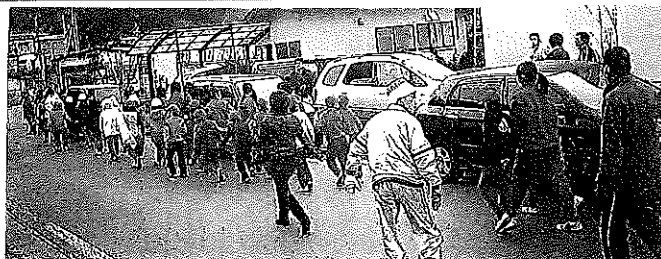
☆ ()とは・・・

一度にたくさんの雨がふって、土砂が水といっしょに一気にしゃ面を下るげんしょう。大きなひがいが出る。

○自然災害から人々を守るための情報発信

	ひなんをする必要があるとき ⇒市町村は()から情報を受け取って 住民に()を呼びかける。	他にも・・・ 気象庁では地震が起きた時に()を出している。
---	--	-----------------------------------

○防災意識を高めるために



☆岩手県釜石市では、東日本大震災で99.8%の小中学生が無事だった。

⇒「 」…自分で判断して高台にひなんした

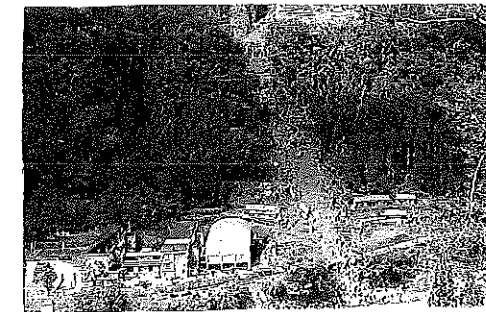
☆また、授業の中で()を作成して、下校時のくんれんをしていた。

4 地域みんなで災害を防ぐ

○宮崎県日之影町の

神影地区の災害

(災害直後の様子、
2005年)



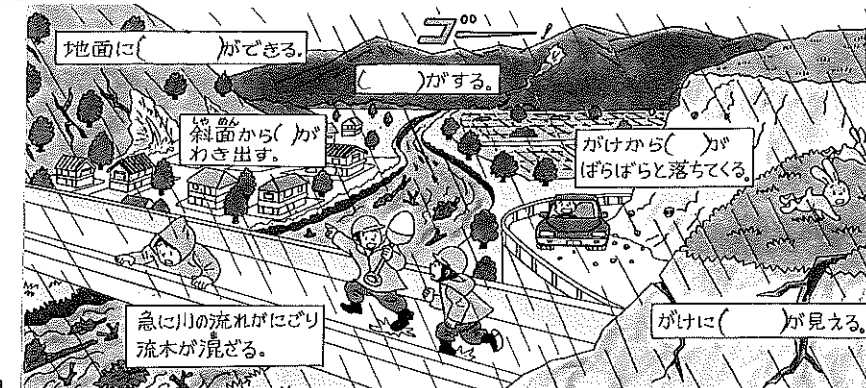
一人の()も出ず
⇒大雨のときは早めに()を呼びかける ⇒ ()
自分たちでも早く() ⇒ ()

○自然災害から人々を守るために

☆災害が起きそうだとすることに()が大切⇒ ()

☆できるだけ早く()する⇒ ()

○土砂災害が起きる前ふれ



○津波記念碑



各地に()を伝える記念碑が建てられてる

という先人のメッセージ

○おまけ

国語「百年後のふるさとを守る」濱口儀兵衛のモデルとなったのは…

村人を津波から救った ()⇒()をつくった

